

創立143周年



学校だより

は え

南風の子

中種子町立
南界小学校

平成28年8月10日(水)発行

暑くて熱い今年の夏

立秋が過ぎても連日の猛暑を伝えるニュース。全国では、気温38℃を超える所も珍しくないようです。気象庁は「ラニーニャ現象」により今夏は特別暑くなると予測していましたが、その通りの猛暑。遠く離れた南米沖の海水温度が日本の夏の気温を左右する自然のしくみもよくわかりませんが、とにかく、南米発の「ラニーニャ」と「リオ五輪」で熱い夏がまだまだ続きそうです。「暑さの中での風邪症状や足の痙りは熱中症」とテレビが警告していました。ご用心！！

校長 岡留 祐宏



花の水かけ、草取り、頑張っています

計画性 充実した夏休みの後半を

8月1日は1回目の出校日。子どもたちも元気に登校してきました。**夏休みの計画** 休み前に立てた計画に沿ってきちんと生活できている子どもも多いようです。休みに入って、花の水かけ当番を交代で取り組んでくれています。理科や社会の自由研究、作文等の指導を受けに来る子どもたちもいます。また、8月初旬には「さつま町との青少年交流」に本校からも11名の子どもたちが参加してさつま町を訪問しました。9日、10日には今年も古市家塾を開催し、国指定文化財の古市家を会場に日高林先生に御指導いただき、習字教室を行いました。7月末の「親子球技大会」や学級レクリエーションを含めて、楽しく有意義な夏休みの前半を過ごせたようです。

全国では、子どもたちの水の事故や交通事故が報道されています。校区内では、水難事故防止の巡回指導をはじめ、家庭や地域のご協力をいただいています。町内では、子どもの交通事故も発生しています。「自分の命は、まず自分で守る」ことを改めて話しました。

「命」と「人権」を考える 8月

8月6日、9日の「原爆の日」や15日の「終戦記念日」の式典のメッセージは、私たちに平和の尊さを深く考えさせる特別な日になっています。古来より営まれてきた「お盆」とも相まって、かけがえのない「命」を思う機会でもあります。オリンピックは「平和の祭典」とも言われます。子どもたちにも、テレビや新聞の報道に注目して、命や平和のことを考えてほしいと話しました。

また、8月は「人権同和問題啓発強調月間」でもあります。「どの国も他国から侵されない権利」があるように、「誰もが差別や排除されず、一人一人の権利が尊重される社会」の実現を目指しています。そのためには、私たち一人一人が人権同和問題を正しく理解し、人権意識を高めていくことが強く求められています。連日熱戦が続くオリンピックを観戦しながら、「命と人権」、「戦争と平和」についても話題にしていただければと思います。



SNS普及で危険増大 ネットトラブル相次ぐ

これは、7月24日付けの南日本新聞の一面トップの見出しです。「インターネットへの安易な書き込みや画像掲載による子どもたちのトラブルが鹿児島県内で相次いでいる」と伝えています。特に、LINEやフェイスブックなどのSNS（会員制交流サイト）の普及で、トラブルがあっても“大人側”から見えにくくなっていると指摘しています。

「ネットで拡散した情報は消えない。不用意な投稿で、一生を棒に振ることもある」（NPO法人ネットポリス鹿児島島の戸高理事長談）。投稿した内容によっては、相手を深く傷つけたり、投稿した自分自身も取り返しのつかない状況に追い込まれるということです。

本校の子どもたちもネットに接続できる機器に触れている状況です。安易な投稿、迷惑な投稿はないでしょうか。チェーンメール（「〇人の人に送ってください」のような）をしている子どもはいないでしょうか。ぜひ子どもたちの状況を確認していただき、危機感をもとに、使用についてそれぞれの家庭でも話していただければと思います。



